

Press Release

2007 年 9 月 19 日

報道関係各位

株式会社リビングくらしHOW研究所

～ ミセスの「祝日と3連休」についての意識アンケート ～ 今年の3連休、専業主婦の4人に1人は「多すぎる」 もし祝日が増えるなら「週の中日に」33.5%

3連休と普通の土日、「楽しみな程度は変わらない」専業主婦が約4割
フルタイム勤務ミセス...75.2%が「祝日が土曜に重なったら振替休日に」

主婦を対象としたフリーペーパー「リビング新聞」を発行する株式会社サンケイリビング新聞社のグループ企業である「リビングくらしHOW研究所」(本社:東京都千代田区、代表者:菊野 善衛)は、ミセスを主なユーザーとするウェブサイト「えるこみ」で、ミセスの祝日と3連休の意識を探るアンケート調査を実施。専業主婦と働く主婦の間にある、微かな「連休に対する気持ちの差」をまとめた。

いざ「3連休」...盛り上がらない専業主婦、楽しみなワーキングミセス

3連休が通常の土日と比べて「楽しみなことが多い」人は、フルタイムワーキングミセスの56.4%に対し、専業主婦は33.2%。「普段の土日と変わらないことが多い」が41.1%、「むしろうれしくないことが多い」が17.8%。

1年間に「3連休・4連休」が10回。専業主婦は「これで十分」が多数派

今年の3連休・4連休は年間10回。この回数を「もっと多くてもよい」と答えたのは、フルタイムワーキングミセスだと47.0%と半数近いのに対し、専業主婦は23.8%。専業主婦は「ちょうどよいと思う」33.1%、「多すぎると思う」26.1%で、約6割が3・4連休がこれ以上増えることを望んでいない。

もし「祝日」が増えるなら、「日を固定で」「週の中日に」「6月に」がいい

- ・ 「祝日」が増えた方がいいと考える専業主婦は34.0%。フルタイムワーキングミセスは60.2%。
- ・ ただし、どちらも「祝日は主に日が固定されている方がよい」と考える人が多数
- ・ また、次に祝日が増えるとしたら「もっと週の中日に増えてほしい」人が多い
- ・ 次に祝日が増えるとしたら「6月」を希望する人が約5割と突出した結果に。

祝日が土曜に重なったら...「振替休日」を、ミセスの5割以上が希望 ワーキングミセスは7割以上が望む

祝日が土曜に重なった場合への希望を聞いたところ、専業主婦でも55.2%が「土曜は多くの人が休みなので、振替休日にする方がよい」と回答。フルタイムワーキングミセスでは75.2%が「振替休日」を希望していた。

- * 当リリースの数値は、小数点二位以下を切り捨てて表記しています。
- * 当調査のデータは、<http://www.kurashihow.co.jp/>でご確認いただけます。

【データに関するお問い合わせ先】
株式会社リビングくらしHOW研究所
くらしHOW研究室 藤田景子
TEL:03-5216-9420 / FAX:03-5216-9430
info@kurashihow.co.jp

Press Release

「3連休は、いつもの土日より楽しみですか？」

「いつもと変わらない」「どこも混雑」「家事が進まない」…専業主婦は期待感も控えめ

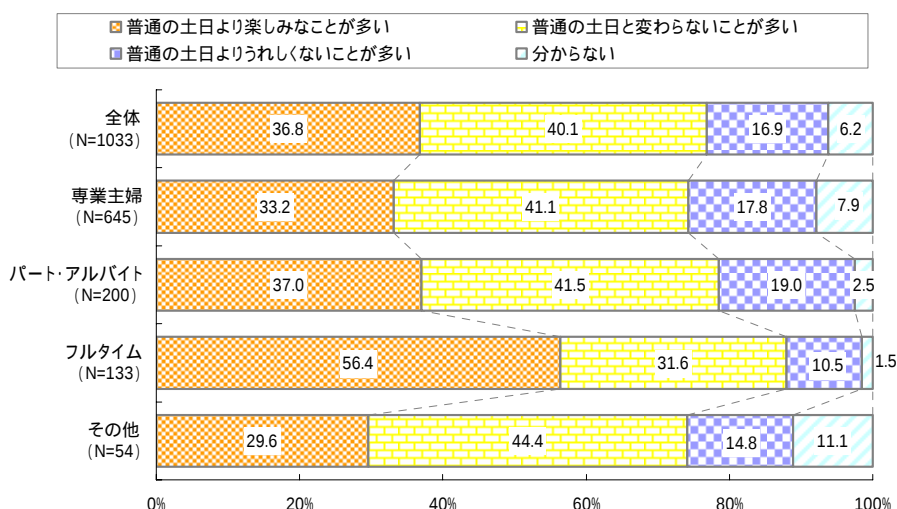
この秋、連続する3連休。楽しみで当たり前…と思いきや、専業主婦では「普段の土日より楽しみなことが多い」と答えた人は33.2%と、3人に1人にとどまった。むしろ「普段の土日と変わらないことが多い」41.1%、「むしろうれしくないことが多い」17.8%。合計で58.9%と半数以上が「3連休といっても…」といった、テンションの低さが感じられる結果に。

「変わらない」「むしろ楽しみでない」と答えた人の理由としては、「休日が増えると食事を作る回数が増える」(48歳・横浜市)、「主人の休みが土日ではないので普段の生活と変わらない」(38歳・東京都)、「子供の部活などでかえって早起きをしたり弁当を作ったりする用事も多くなる」(44歳・神奈川県)と、3連休とはいえ、ゆっくり休んだり、家族団らんとは行かない状況があるよう。

フルタイムワーキングミセスは「3連休が楽しみ」56.4%、一方パート・アルバイトミセスは…

同じく主婦といってもフルタイムで働くミセスは56.4%が「通常の土日より楽しみなことが多い」と回答。ただしワーキングミセスでもパート・アルバイトの場合は「普段の土日と変わらないことが多い」41.5%、「むしろうれしくないことが多い」19.0%と、合わせて6割以上が「3連休が特別楽しみとは言えない」という結果に。また、実態としてもパート・アルバイトのミセスは、暦の上で3連休の場合も3日連続で休めない人が34.5%と、フルタイムワーキングミセスの同25.8%を上回っている(P5参照)。

暦の上での3連休は、普通の土曜・日曜休みと比べて楽しみに思うか



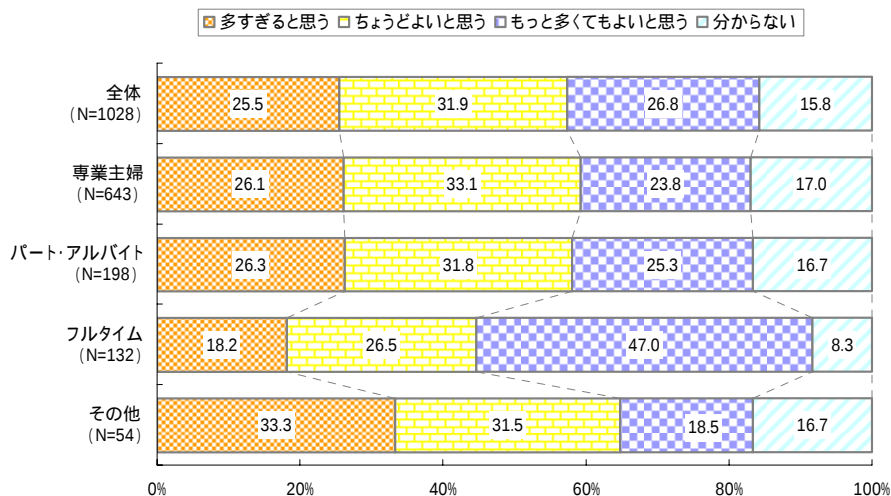
「3連休・4連休が1年に10回。これって多い？少ない？」

専業主婦は「これで十分」、フルタイムワーキングミセスは「もっとほしい」

主婦の就労状況によつての「連休」に対する温度差は、ここでもハッキリ。今年の3連休・4連休の回数(10回)に対し、専業主婦は「ちょうどよいと思う」が33.1%と3人に1人。また「多すぎると思う」が26.1%。約6割が、これ以上の連休は望まない、という結果に。しかし、フルタイムワーキングミセスは47.0%が「もっと多くてよいと思う」と回答。

Press Release

1年間に3～4連休が10回という今年の回数について



「祝日」もっと増えた方がよいと思うのは3人に1人。もしも増えるとしたら・・・

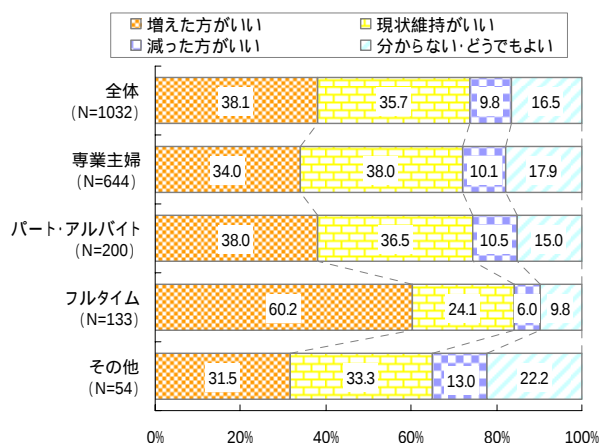
半数以上が「祝日は主に日が固定されていた方がよい」との考え

上記のように、いまひとつ盛り上がらない専業主婦の「3連休」への気持ち。単純に「祝日」であれば、と聞いてみた。が「今後、祝日はもっと増えた方がよい」と回答したのは、専業主婦では34.0%と、3人に1人。一番の多数派は「現状維持」38.0%だった。ただし、フルタイムワーキングミセスはここでも60.2%が「祝日はもっと増えた方がよい」と回答し、意見が分かれた。

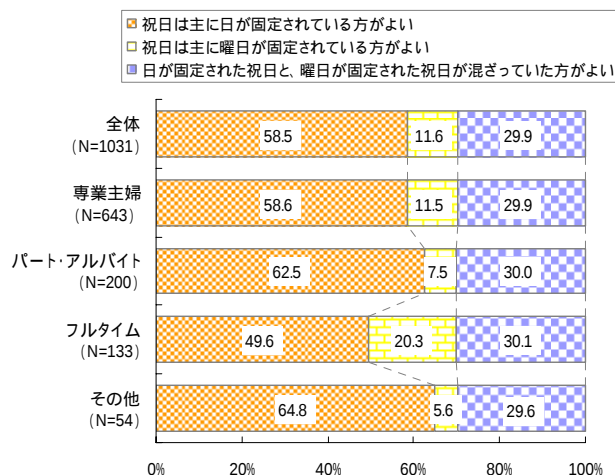
現在、祝日は「日が固定された祝日」と「曜日が固定された祝日」が主だが、祝日は、どちらが主であった方がよいかを聞いたところ「主に日が固定されている方がよい」が、専業主婦で58.6%、フルタイムワーキングミセスでも49.6%となった。

「主に日が固定されている方がよい」と考える人の理由としては、「日が固定していた方が、何の祝日なのか分かりやすく覚えやすい」(54歳・神奈川県)「固定されている方が予定を立てやすい」(31歳・千葉県)などが目立った。

今後、「祝日」はもっと増えた方がよいか



「祝日」の考えについて一番近いもの

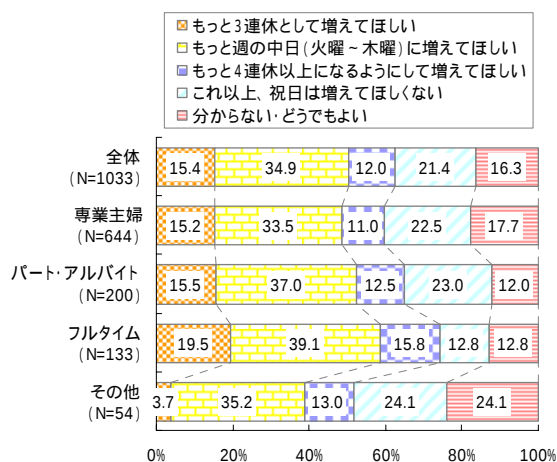


Press Release

次にできる連休は「週の中日（火曜～木曜）」「6月」のニーズが高い

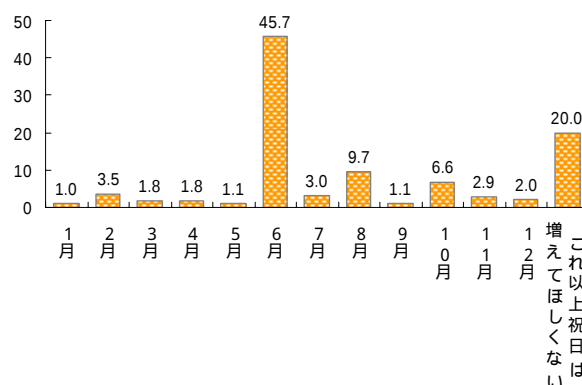
もしも祝日が増えるとしたら・・・と聞いたところ、「もっと週の中日（火曜～木曜）に増えてほしい」人が3割強で1位に。祝日が増えてほしい月は「6月」が半数前後と、このどちらも、専業主婦もフルタイムワーキングミセスも大差ない結果に。祝日に対する温度差はあるが、「もし、あと1日祝日ができるとしたら・・・」という具体的な話となれば、ニーズの差は大きくない。

「祝日」が増えるとしたらどのような日がいいか



「祝日」が増えるとしたら一番増えてほしい月は？

(N=1025)



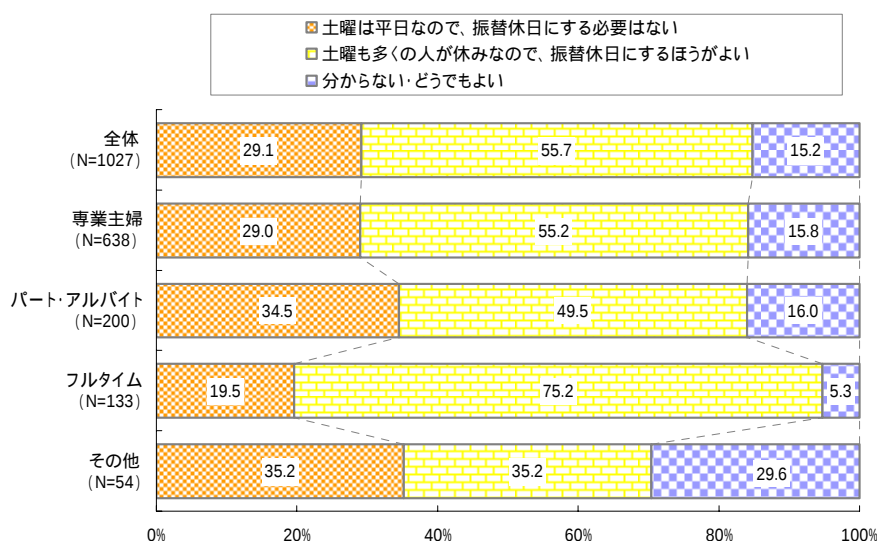
祝日が土曜に重なった・・・振替休日にしてほしい？

専業主婦でも5割以上、フルタイムワーキングミセスは7割以上が「振替休日に」

土日休みの会社勤めであれば、ちょっと残念な気分になる土曜日の祝日。「振替休日になれば・・・」と思う人も多いと思うが、主婦たちはどう考えているか？ これは、祝日の増加よりは積極的な回答が多く、専業主婦でも55.2%が「土曜も多くの人が休みなので、振替休日にするほうがよい」と回答。フルタイムワーキングミセスでは、75.2%が「振替休日」化を望んだ。

しかし、ここでもパート・アルバイトミセスはわずかに厳しめな意見が多く「土曜は平日なので、振替休日にする必要はない」が34.5%と、専業主婦やフルタイムワーキングミセスを上回る結果となった。

「祝日」が土曜に重なった場合、層はどうなるのが好ましいか



Press Release

「こんな祝日を提案します！」

6月の休日は「梅雨の日」「水の日」「環境の日」。ほかに「主婦の日」「地域の日」なども。

新しい祝日ができるとしたら…と仮定し、その祝日とおおよその時期を考えてもらったところ、下記のような回答が集まった。

【春：3月～5月】

3月：「女性の日」
3～4月：「桜の日」「お花見の日」「花の日」
4月：「心機一転の日」

【夏：6月～8月】

6月：「梅雨の日」「水の日」「時の記念日」「紫陽花の日」「山の日」「読書の日」「環境の日」「川の日」「花嫁の日」
8月：「国民の夏休み」「大人の夏休み」「親の日」「休養の日」「平和の日」「温暖化を考える日」「節電の日」

【秋：9月～11月】

10月：「収穫の日・実りの日」「お月見の日」
11月：「いい夫婦の日」「紅葉の日」

【冬：12月～2月】

12月：「大掃除の日」
1～2月「雪の日」

【その他】

「主婦の日」… 1月の正月明け、9月の夏休み明けなど、主婦の完全休養デーとして
「家族の日・家族の日」… 仕事は原則禁止。皆が家族と過ごす日に
「地域の日」… 都道府県ごとに決める。花見や紅葉など、地域で時期差のある行事などもこれでOK。
「誕生日・いのちの日」… 各自の誕生日は、法令で休暇が取れるようにする。

【回答者のプロフィール】 すべて既婚女性

平均年齢：41.9歳

年代：20代5.9%、30代40.2%、40代31.5%、50代17.3%、60代以上5.1%

職業：専業主婦62.5%、パート・アルバイト19.4%、フルタイム勤務12.9%、その他5.3%

回答者のうち、ワーキングミセスの休みのタイプ：

パート・アルバイト：通常の土日「連続して休み」65.0% 「連続して休みでないことが多い」32.5% 「その他」3.5%
3連休 「連続して休み」63.0% 「連続して休みでないことが多い」34.5% 「その他」2.5%

フルタイム勤務：通常の土日「連続して休み」76.5% 「連続して休みでないことが多い」22.0% 「その他」1.5%
3連休 「連続して休み」73.5% 「連続して休みでないことが多い」25.8% 「その他」

0.8%

【調査データ概要】

調査方法：サンケイリビング新聞が運営する女性を向けウェブサイト『えるこみ』のユーザーを対象としたWEBアンケート

調査期間：2007年8月30日～9月2日（4日間）

回答者：既婚女性1035人

調査・集計・分析：リビングくらしHOW研究所

【データに関するお問い合わせ先】

株式会社リビングくらしHOW研究所

くらしHOW研究室 藤田景子

TEL:03-5216-9420 / FAX:03-5216-9430

info@kurashihow.co.jp